



# 京都ビジネス交流フェア2022 開催時のコロナ感染防止対策マニュアル

2021.11.04 初稿  
2022.01.18 第2稿  
2022.01.28 第3稿

本展では、「一般社団法人 日本展示会協会」の開催ガイドラインに基づき、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を実施いたします。本対策は、主催者・主催協力企業各社・出展各社・来場者全てにおいて順守することが重要であり、搬入期間・開催期間・搬出期間を通じて実施いたします。実施管理は主催責任者の指示の元、主催者事務局・施工会社が行い、会場との緊密な連携により適切な対策を実行いたします。

## ■ コロナ感染防止基本対策

1. 検温(37.5℃以上の入館者の制限)
2. アルコール消毒
3. マスク着用
4. 密の回避(ソーシャルディスタンスの確保)
5. シールド等による飛沫拡散防止
6. 入館登録時での非接触による感染防止
7. コロナ感染発生情報の発信
8. サイン看板による感染防止の注意徹底

以上、8項目でコロナ感染防止を実施する。

## ■ 出展者マニュアル記載文

### P3 D. 新型コロナウイルス感染症対策について

「京都ビジネス交流フェア2022」を開催するにあたり、原則、政府、京都府及び関係業界のガイドラインを順守し、レイアウト構成、衛生管理、出展者・来場者の体調管理を徹底します。

具体的には、次ページ以降の記載を基に開催時点において最適な方法で感染対策を行い、それに伴う出展者様、来場者との接客・接触方法など主催者として検討、変更があれば随時ご連絡いたします。

今後、新型コロナウイルスの影響次第では、本展示会の開催の可否や実施・運営方法などを変更する場合があります。

詳細についてはフェアホームページにおいて感染防止対策マニュアルを掲載、随時更新いたしますが、関係各社皆様の健康を最優先とし無事開催できるよう努めてまいりますので、ご出展者様のご協力をよろしくお願いいたします。

### P30 C. 新型コロナウイルス感染症に対する対策

#### (1) 主催者としての対策

①会場内の各所に消毒液を設置し、会場入り口でサーモグラフィによる検温を実施します。

②事務局が必要と判断した場合、入場者の人数制限を行います。

③休憩スペース等、高頻度接触部位\*の消毒・清掃を適宜行います。

※高頻度接触部位：テーブル・椅子の背もたれやドアノブ等の頻繁に人の手が触れる部分

④搬入日・会期・初日後の消毒作業を行います。

#### (2) 入場者の体調管理

①感染症対策のため、搬入日及び会期中に参加する全てのスタッフ及び施工会社等、(以下、「出展者スタッフ等」という。)の体調管理を行い、体調のすぐれない者は入場させないようにしてください。

②搬入時及び搬出時を含め期間中は、マスクの着用を義務付けます。

③全ての出展者スタッフ等は、毎日会場に掲示する「京都府新型コロナあんしん追跡サービス「こころ」」に登録してください。

④毎日入場前には出展者スタッフの体温測定を行い、記録してください。

⑤会期中及び会期後、出展者スタッフ等に感染者が出た場合は、事務局に情報提供してください。

⑥感染症対策について、事務局より指導を受けた場合は従ってください。

#### (3) 出展ブースでの対応

①出展ブースの施工、装飾には、時間短縮と人員削減による安全な作業環境を確保してください。

②密を避けるために1ブースあたり出展者のアテンド人数は原則2人までとします。

③会場内では必ずマスクを着用し、名刺の交換、資料の配布等はできるだけ電子にて対応してください。

④飛沫飛散防止のため大声での会話、過度な集客は控えていただき、通路に出での営業は禁止します。

⑤来客状況によりデモンストレーションや商談時間を柔軟に調整し、密な状況を作り出さないよう可能な限り配慮してください。

⑥ブースを含め出展者自身の感染対策は各自にて行ってください。

⑦搬入時及び搬出時に自社ブースで出たゴミは必ず持ち帰るよう手配してください。

#### (3) 開催の延期及び中止

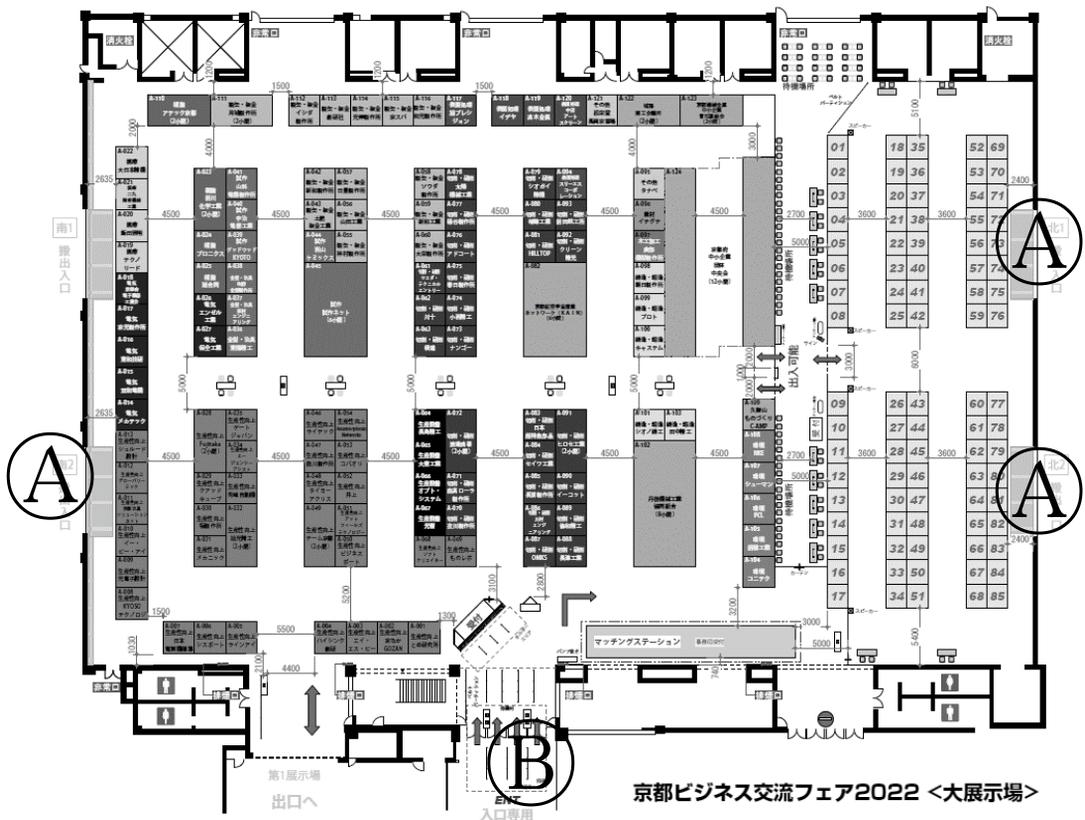
新型コロナウイルス感染症拡大に伴いいわゆる「京都モデル」に基づき、開催の自粛を求められた場合は開催の延期又は中止します。

■ 搬入出の開閉時間制限による管理体制

搬出入口名	記号	16日	17日	18日
大展示場 北1・2 南2搬出入口	Ⓐ	午前中主催者工事 12時30分～ 18時 オープン	終日クローズ	17時～18時 オープン
表玄関 搬出入口	Ⓑ	午前中主催者工事 12時30分～18時 オープン	8時～17時 オープン	8時30分～ 終日 オープン

1. 出展者の工事、搬入・撤去の搬出入口の使用日と時間を制限し混雑の回避と入り口での  
コロナ感染防止を徹底
2. 来場者の入館口は表玄関口とし、搬入業者や工事関係者の入館を制限
3. 主催者・出展者が自由に出入りできるように、表玄関口の一箇所に出入り口を設け混雑を回避する
4. 事前に搬入・搬出口及び時間の通知は出展者にメールで主旨徹底を図る

■ 搬入出口



■ 搬入出の検温に関して

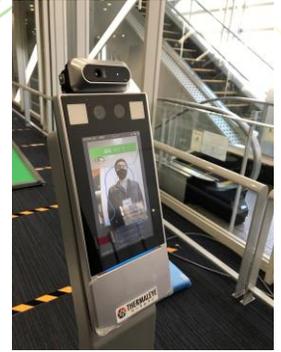
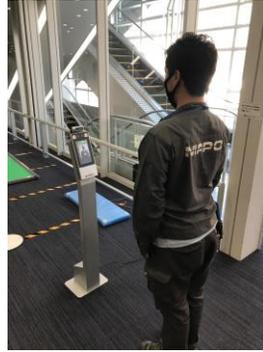
各入口に検温器を設置致しますので、検温後入館お願い致します。

搬入出時の検温について

■ 検温システム

◇説明

入口で来場者がセルフ式で検温で検温



正常な体温の場合

緑枠で体温が表示され、「正常な体温です。」とアナウンスが流れる。

異常な体温の場合

赤枠で体温が表示され、「体温を確認してください。」とアラート音+アナウンスが流れる。

■ 検温システム設置場所 搬入出

・搬入日及び会期中の全入場者(来場者・出展者・スタッフ・業者)に検温を実施。

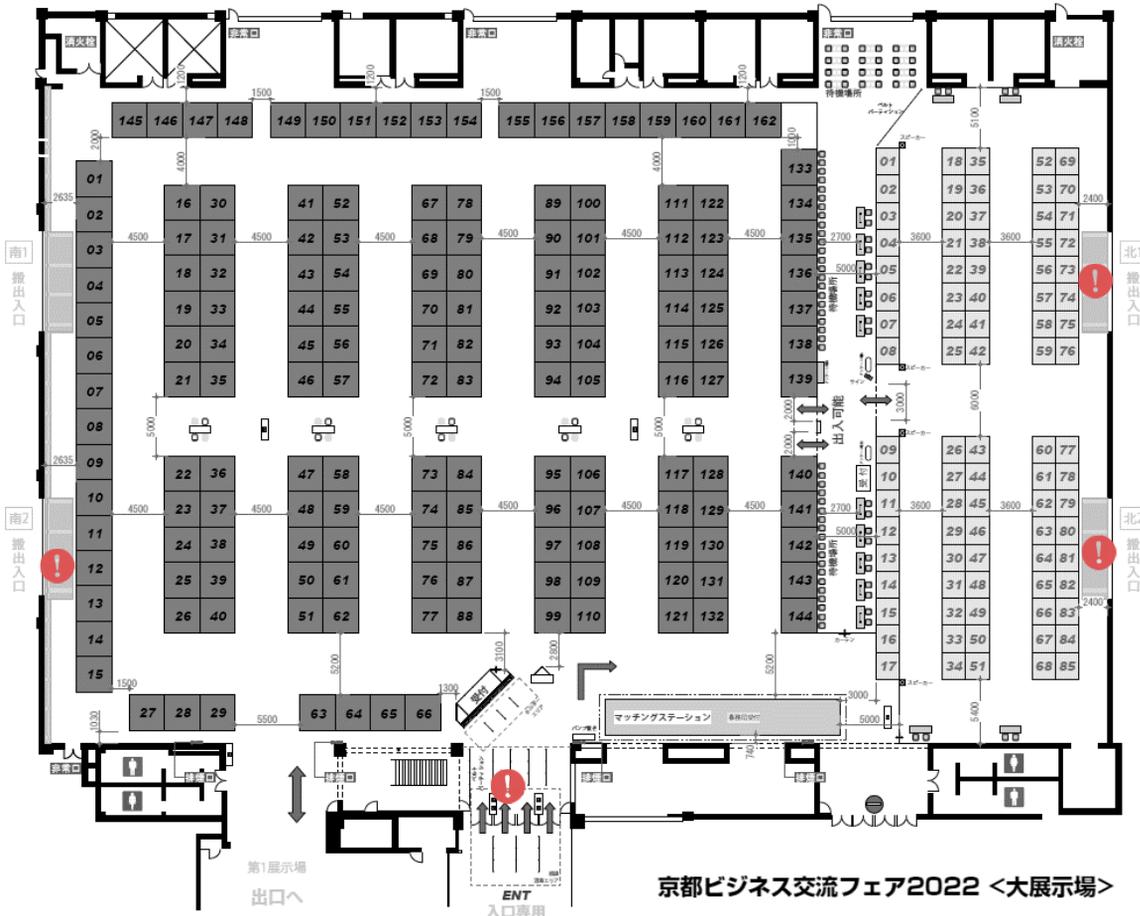


検温システム設置カ所

大展示場玄関口<sup>ⓑ</sup> 設置時間

16日12時00分～17時まで

18日16時30分～18時00分まで



■ 入館時の流れ 受付フロー

- スタッフ配置ポイント
- 消毒設置カ所
- 滞留人数計測機設置

【ホルダーエリア】

- ① 該当する種別の来場証とホルダーを取る
- ② ホルダーに来場証と名刺を入れる
- ③ 貴名受けにも名刺を入れる

↓  
・ガイドブック・会場案内図を取る

大学・ コーディネータ	報道	商社・ 代理店	官公庁・ 団体・金融	一般
購買・調達	生産技術・ 製造	設計・開発・ 研究	経営・管理	営業・企画
情報・通信				

その他

・入館口4か所にてソーシャルディスタンス2mを確保して、フットシールに合わせて来場者を整列させる

↓  
・入館口が混雑した場合は入口レーンのパーテーションを追加、プロムナードで入館者を一時待機させ混雑を調整

・検温時に37.5℃以上の検知来場者のフォロー(総合受付にて対応)



# 検温について

## ■ 検温機能付き入場ゲート

### ◇説明

入口で来場者がセルフ式で検温  
マスク着用の有無をカメラで判別

正常な体温の場合

ゲートが開き、入場可能。

※正常体温であっても、マスク未着用の場合は  
ゲートが開きません。

異常な体温の場合

ゲートが開かないため、スタッフの誘導にて再検温。

## 検温機能付き入場ゲート



## ■ 検温機能付き入場ゲート設置場所 会期中

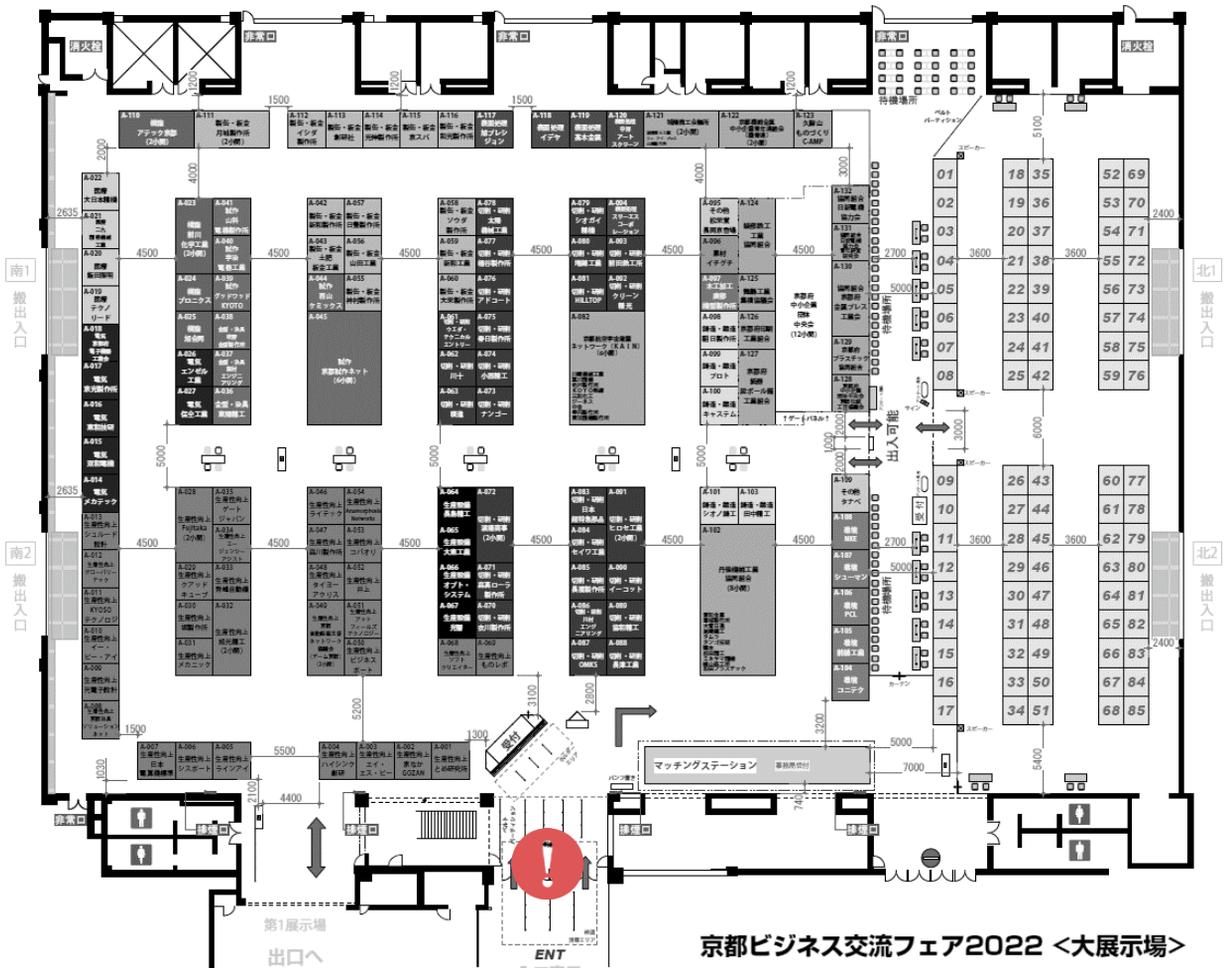
・会期中の全入場者(来場者・出展者・スタッフ・業者)は検温ゲートによる検温を実施。

### ! 検温ゲート設置カ所

大展示場玄関口<sup>®</sup> 設置時間

17日9時30分~17時まで

18日9時30分~16時30分まで



京都ビジネス交流フェア2022 <大展示場>

### ■ 場内通路の拡幅

展示会業界が定めるガイドライン(通路幅3mを推奨)

以上に場内通路を拡幅

(最低4mを確保)



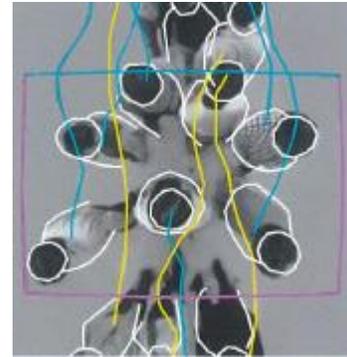
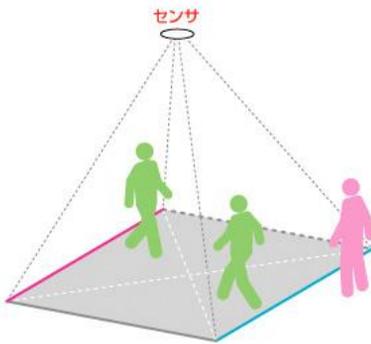
### ■ 滞留人数の計測

◇使用システム

人数計測システム「PASSER- Cloud(パッサークラウド)」使用

会場内の入口と出口に人数計測センサを設置

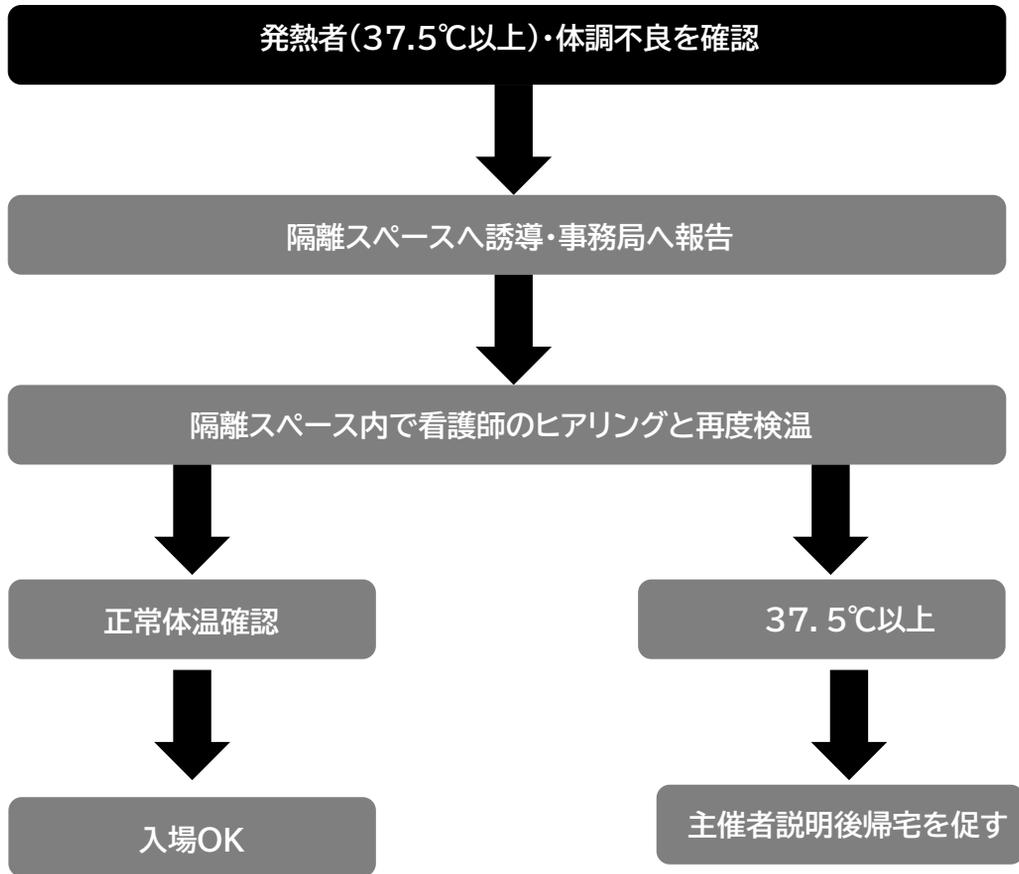
事務局で常時場内の滞留人数を把握



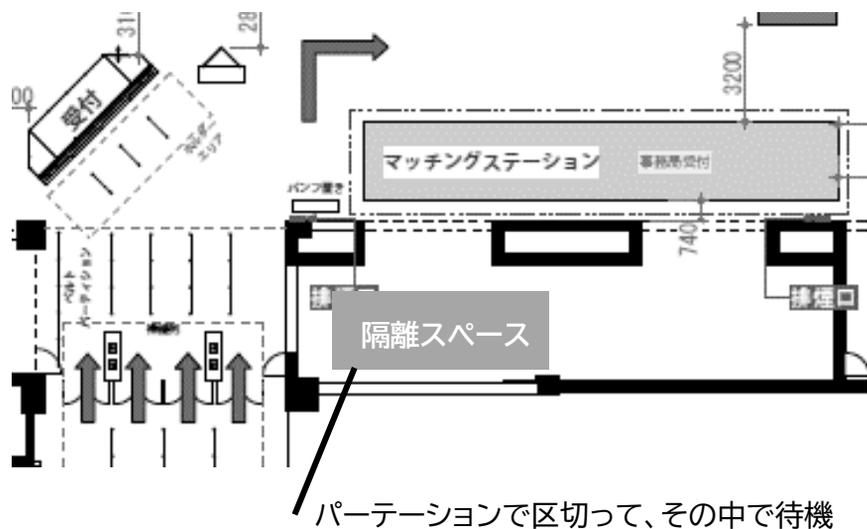
### ■ ブース内のアテンド人数の制限

出展者側のアテンド人数を原則1ブースあたり2名以内に制限

■ 検温ゲートで発熱及び体調不良者が確認された場合



■ 隔離スペース



相談窓口・問い合わせ先

京都府・京都市共通相談窓口

「きょうと新型コロナ医療相談センター」 075-414-5487

■ アルコール消毒

アルコール消毒スタンドを会場内に設置。 搬入出時は別途搬入出口に消毒液を準備。

■ 清掃

- ・搬入日・会期初日終了後にアルコール消毒清掃の実施
- ・定期的に清掃員が会場内を周り共有部分の消毒（受付入口付近・商談席・トイレ等）

■ アルコール設置位置 ● 8か所



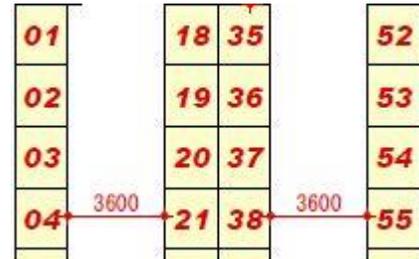
## ■ 場内通路の拡幅

展示会業界が定めるガイドライン(通路幅3mを推奨)以上に場内通路を拡幅

### 大展示場



### 商談会



## ■ ブース内のアテンド人数の制限

出展者側のアテンド人数を原則1ブースあたり2名以内に制限

## ■ 主催者側のコロナ感染防止対応

- ①会期前にフェアHPにて感染対策実施内容を告知する。
- ②会期1週間前に感染対策マニュアルを出展者に一斉メールをし、再度コロナ感染防止についての協力を要請する。
- ③全参加者に対して京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス「こことろ」のインストール及び来場時のチェックインについての協力を要請する。
- ④展示会でコロナが発生した場合の緊急通知はスタッフ名簿を使って配信する。
- ⑤各日毎に主催者の責任のもとスタッフの検温、マスク着用、アルコール消毒の実施を確認する。
- ⑥マスクを忘れた来場者には総合受付にてマスクを配布する

## ■ 食堂スペース 2F(関係者のみ)

- ①食堂は出展者、商談会参加者のみの利用に限定。来場者への弁当の販売は行わない。
- ②コーヒーチケットの配布は行わない。
- ③2/17 11:00～利用可能

## ■ 開会式

オープニングセレモニーは中止とする。

# イベント開催時のチェックリスト

【第2版（令和4年1月版）】

イベント名	京都ビジネス交流フェア2022				
	(開催案内等のURLがあれば記載) <a href="https://www.ki21.jp/bp/">https://www.ki21.jp/bp/</a>				
出演者・チーム等	<a href="https://www.ki21.jp/bp/exhibitors/">https://www.ki21.jp/bp/exhibitors/</a>				
	(多数のため収まらない場合 → 別途、一覧を作成してください。)				
開催日時	2022年2月17日(木)・18日(金)				
	複数回開催の場合は、別途開催する日時の一覧表を作成してください。				
開催会場	京都パルスプラザ(京都府総合見本市会館)				
会場所在地	京都府京都市伏見区竹田烏羽殿町5				
主催者	京都府、公益財団法人京都産業21				
主催者所在地	京都府京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 京都府京都市下京区中堂寺南町134				
主催者連絡先	TEL:075-315-8590		MAIL:bpstaff@ki21.jp		
適切と考える収容率(上限)	<input type="checkbox"/>	100%(大声なし)		<input type="checkbox"/>	人と人が触れ合わない程度の間隔
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	大声なし	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な人と人との間隔 (できるだけ2m、最低1m)
		<input type="checkbox"/>	大声あり		
収容人数	会場に規定なし				
参加人数	約2,500人/日				
催物の概要 (HP等のURLがあればご記載ください。)	本年度も引き続き、リアル展示会とバーチャル展示会のハイブリッド形式により開催し、WITHコロナ時代における新たなビジネスの芽を創出する場を提供することを目的とします。 ものづくり企業のマッチングに加え、ITツール・自動化機器等の導入を促し、企業の働き方改革への対応等に寄与するマッチングも推進していきます。 同時に新規取引先の開拓を目的とした広域商談会を実施します。(HP: <a href="https://www.ki21.jp/bp/">https://www.ki21.jp/bp/</a> )				
	(大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載ください。)				

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

# イベント開催時のチェックリスト

<p><b>基本的な感染防止</b></p>	<p>イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。          ※5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。</p>	
<p><b>①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底</b></p>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>【大声なしの場合】          飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（不織布マスクを推奨以下同じ。）の正しい着用や大声（※）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。          （※）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。</p> <p>【大声ありの場合】          「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。</p>
<p><b>②手洗、手指・施設消毒の徹底</b></p>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。）。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。</p>
<p><b>③換気の徹底</b></p>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上等）の徹底。</p>
<p><b>④来場者間の密集回避</b></p>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 大声を伴わない場合には、人と人が触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保</p>

# イベント開催時の感染防止策チェックリスト

<b>基本的な 感染防止</b>	イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たす必要があります。 ※5,000人かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。
----------------------	--

<b>⑤ 飲食の制限</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。
	<input checked="" type="checkbox"/>	飲食中以外のマスク着用の推奨。
	<input checked="" type="checkbox"/>	長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。
	<input checked="" type="checkbox"/>	自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。）。
<b>⑥ 出演者等の感染対策</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。
<b>⑦ 参加者の把握・管理等</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。
	<input checked="" type="checkbox"/>	入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
	<input checked="" type="checkbox"/>	時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。